

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

本日は、多くの保護者の方々に来ていただき、こうして第71回卒業式を行えることを、本当にうれしく思います。何人かの保護者の方が「卒業式ができるだけでうれしい」「卒業式に読んでもらえてうれしい」とおっしゃっていたのが、とても印象に残っています。

私が皆さんと過ごした日々は2年間ですが、日々頑張っていた姿や、成長していく姿を身近に感じる事ができた、かけがえのない思い出深い2年間でした。廊下で会ったときに自然にしてくれるあいさつ、修学旅行や部活動、体育大会、合唱発表会などで、元気に明るく頑張っていた3年生の姿が、今でも目に焼き付いています。

そして、昨日、予行の際に、本当なら送る会で在校生が披露するはずだったお別れの映像とステンドグラスを、1・2年生の先生たちが紹介しました。その時、みなさんから歓声が上がリ、あたたかい拍手が沸き起こるのを見て、何て素晴らしい学年なんだと思いました。

さて、卒業する皆さんに送りたい言葉があります。

それは「モノの豊かさより心の豊かさを大切にしよう」です。

私たちが過ごしている社会は、グローバル化がどんどん進んでいま

す。国や地域などの境界を越えて、地球規模で資本や情報のやり取りが行われています。世界のあちこちにあつという間に広がっている今の感染の速度は、われわれの時代の必然的な結果です。

私は、「豊かなモノに囲まれた、不自由のない社会でくらしている」と当たり前のように思っていました。けれど、今、何かが違う、と感じています。

イタリアでも、私たちと同じように休校になっている学校がたくさんあります。ミラノ市内の高校の校長、ドメニコ・スキラーチエさんは、今の世界の様子を「世紀に流行したペストによる混乱になぞらえ、デマなどに振り回されないよう全校生徒へメッセージを送りました。そのメッセージの一部を紹介します。

「人は見えない敵に脅かされた時、その敵があちこちに潜んでいるかのように感じてしまい、自分と同じような人々も脅威だと、潜在的な敵だと思い込んでしまいます。それこそが危険です。

私たちには進歩した現代医学があり、それはさらなる進歩を続けており、信頼性もあります。

合理的な思考で、私たちが持つ貴重な財産である人間性と、社会を守っていきましょう。」

みなさんにはぜひ、これからの社会に求められている思いやりのあ

る、豊かな心を育ててほしいと思います。

私は、みなさんが必ず明るい未来をつくっていく、と信じています。

最後にこれまで、楽しい時も落ち込んだ時も変わらず見守ってこられたご家族の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。これまで保護者の皆様から本校の教育活動に寄せられましたご理解とご協力に
対して、教職員一同厚くお礼申し上げます。

以上を持ちまして祝辞といたします。

令和2年（2020年）3月13日

豊中市立第二中学校 校長 田中明美